

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年2月8日

上場会社名 株式会社SANKYO 上場取引所 東
 コード番号 6417 URL <https://www.sankyo-fever.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石原 明彦
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 高橋 博史 TEL 03-5778-7777(代)
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	128,065	82.1	48,039	139.8	48,774	133.9	38,670	128.2
2022年3月期第3四半期	70,344	71.6	20,033	371.0	20,851	311.9	16,949	313.0

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 37,272百万円(123.8%) 2022年3月期第3四半期 16,651百万円(174.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	665.89	658.73
2022年3月期第3四半期	277.42	274.76

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	359,115	300,522	83.2
2022年3月期	309,213	270,120	86.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 298,683百万円 2022年3月期 268,519百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	50.00	-	50.00	100.00
2023年3月期	-	60.00	-		
2023年3月期(予想)				90.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	155,000	82.7	55,000	157.5	56,000	151.6	45,000	143.7	774.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年3月期3Q	66,339,100株	2022年3月期	69,597,500株
2023年3月期3Q	8,275,530株	2022年3月期	11,340,565株
2023年3月期3Q	58,073,597株	2022年3月期3Q	61,096,691株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナに向けた新たな段階への移行が進められている中、社会経済活動との両立が図られ、景気の持ち直しが期待されているものの、世界的な金融引き締め等が続き、海外景気の下振れと、資源価格の高騰や円安の進行等による物価上昇を背景に、先行きは不透明な状況にあります。

当パチンコ・パチスロ業界では、2022年6月より登場しているパチスロ新基準機6.5号機の普及が進み、低迷が続いていたパチスロの稼働状況に改善が見られ、さらに11月から順次投入されているスマートパチスロ機がパーラーの期待に応える稼働を見せるなど、パチスロ市場の景況改善が着実に進展しております。一方、パチンコ市場につきましては、改善傾向にあるパチスロ市場を背景に、短期的にパチスロ機への需要シフトが見られるものの、安定した稼働状況と新台購買需要が続いております。

このような中、当社グループでは、ブランド力向上により主力のパチンコ機の販売シェアを大きく拡大した第2四半期までの流れを持続し、当第3四半期に販売したパチンコ機「ゴジラ対エヴァンゲリオン ～G 細胞覚醒～」が2022年に登場したパチンコ機の中で業界最多販売台数を記録するなど、順調に販売台数を積み上げることができました。また、業界最速での投入を果たしたスマートパチスロ機「L革命機ヴァルヴレイヴ」が、ファン・パーラーから注目を集め、導入後も高稼働を見せており、当社グループのパチスロ市場での存在感向上にも大きく貢献しております。

以上の結果、売上高1,280億円（前年同四半期比82.1%増）、営業利益480億円（同139.8%増）、経常利益487億円（同133.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益については、投資有価証券の売却による特別利益の計上もあり386億円（同128.2%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(パチンコ機関連事業)

パチンコ機関連事業につきましては、売上高1,035億円（前年同四半期比67.7%増）、営業利益451億円（同101.1%増）、販売台数222千台（前年同四半期は138千台）となりました。

主な販売タイトルは、SANKYOブランドの「フィーバーからくりサーカス」（2022年8月）、「フィーバー戦姫絶唱シンフォギア3 黄金絶唱」（2022年9月）、B i s t yブランドの「宇宙戦艦ヤマト2202 -ONLY ONE-」（2022年7月）、「ゴジラ対エヴァンゲリオン ～G 細胞覚醒～」（2022年12月）、J Bブランドの「フィーバークイーンRUSH」（2022年11月）であります。

(パチスロ機関連事業)

パチスロ機関連事業につきましては、売上高141億円（前年同四半期比151.6%増）、営業利益63億円（同1,074.0%増）、販売台数は30千台（前年同四半期は12千台）となりました。

販売タイトルは、SANKYOブランドの「パチスロ アクエリオン ALL STARS」（2022年7月）、スマートパチスロ機第一弾「L革命機ヴァルヴレイヴ」（2022年11月）の2タイトルであります。

(補給機器関連事業)

補給機器関連事業につきましては、売上高101億円（前年同四半期比265.8%増）、営業利益6億円（同610.8%増）となりました。

(その他)

その他につきましては、売上高1億円（前年同四半期比7.1%減）、営業利益15百万円（同46.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は3,591億円であり、前連結会計年度末と比べ499億円増加しました。これは主に、投資有価証券が38億円減少となりましたが、受取手形、売掛金及び契約資産が371億円、現金及び預金が85億円、有償支給未収入金（流動資産「その他」に含む）が50億円、原材料及び貯蔵品が25億円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は585億円であり、前連結会計年度末と比べ194億円増加しました。これは主に、電子記録債務が104億円減少となりましたが、未払法人税等が112億円、支払手形及び買掛金が102億円、未払金（流動負債「その他」に含む）が77億円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比べ304億円増加しました。これは主に、配当金の支払い63億円、その他有価証券評価差額金が13億円減少、自己株式の取得7億円を計上した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益を386億円計上したことによるものであります。なお、2022年5月12日開催の取締役会において決議された、会社法第178条の規定に基づく自己株式の消却につきましては、2022年5月31日に実施しております。この結果、純資産は3,005億円となり、自己資本比率は3.6ポイント減少し、83.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の動向等を踏まえ、2022年10月17日に公表した通期連結業績予想を修正いたしました。パチンコ機の予想販売台数は250千台から268千台、パチスロ機の予想販売台数は40千台から51千台に見直しております。また、期末配当予想につきましても、前回予想から30円増額し1株当たり90円に修正しております。詳細につきましては、本日別途開示いたしました「2023年3月期業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	98,013	106,568
受取手形、売掛金及び契約資産	17,230	54,422
有価証券	134,999	134,999
商品及び製品	1,908	1,299
仕掛品	22	63
原材料及び貯蔵品	5,889	8,488
その他	6,797	11,514
貸倒引当金	△1	△8
流動資産合計	264,859	317,349
固定資産		
有形固定資産	25,980	26,093
無形固定資産		
その他	164	142
無形固定資産合計	164	142
投資その他の資産		
投資有価証券	13,288	9,463
その他	4,932	6,096
貸倒引当金	△12	△29
投資その他の資産合計	18,209	15,531
固定資産合計	44,353	41,766
資産合計	309,213	359,115
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,539	18,775
電子記録債務	10,454	-
未払法人税等	4,299	15,591
賞与引当金	734	343
株主優待引当金	122	122
資産除去債務	2	-
その他	6,794	15,432
流動負債合計	30,946	50,265
固定負債		
退職給付に係る負債	4,911	4,951
資産除去債務	73	75
その他	3,162	3,299
固定負債合計	8,147	8,327
負債合計	39,093	58,593

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,840	14,840
資本剰余金	23,750	23,750
利益剰余金	264,842	285,447
自己株式	△40,558	△29,601
株主資本合計	262,874	294,436
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,646	4,256
退職給付に係る調整累計額	△1	△10
その他の包括利益累計額合計	5,645	4,246
新株予約権	1,600	1,839
純資産合計	270,120	300,522
負債純資産合計	309,213	359,115

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	70,344	128,065
売上原価	30,471	55,374
売上総利益	39,872	72,690
販売費及び一般管理費	19,838	24,651
営業利益	20,033	48,039
営業外収益		
受取利息	62	54
受取配当金	521	543
その他	236	138
営業外収益合計	820	736
営業外費用		
投資事業組合運用損	1	-
その他	1	1
営業外費用合計	3	1
経常利益	20,851	48,774
特別利益		
固定資産売却益	-	50
投資有価証券売却益	2,667	6,018
関係会社株式売却益	13	-
ゴルフ会員権売却益	5	-
特別利益合計	2,686	6,068
特別損失		
固定資産廃棄損	28	77
減損損失	-	22
ゴルフ会員権売却損	2	-
特別損失合計	30	99
税金等調整前四半期純利益	23,507	54,743
法人税、住民税及び事業税	4,456	16,620
法人税等調整額	2,101	△547
法人税等合計	6,557	16,072
四半期純利益	16,949	38,670
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,949	38,670

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	16,949	38,670
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△283	△1,390
退職給付に係る調整額	△13	△8
その他の包括利益合計	△297	△1,398
四半期包括利益	16,651	37,272
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,651	37,272
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年11月8日開催の取締役会決議に基づき、自己株式212,800株を取得し、また、2022年5月12日開催の取締役会決議に基づき、2022年5月31日付で自己株式3,258,400株の消却を実施しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間において、利益剰余金が11,652百万円、自己株式が10,888百万円それぞれ減少し、当第3四半期連結会計期間末において、利益剰余金が285,447百万円、自己株式が29,601百万円となっております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	61,777	5,635	2,782	70,194	149	70,344	—	70,344
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	61,777	5,635	2,782	70,194	149	70,344	—	70,344
セグメント利益	22,459	539	89	23,088	28	23,117	△3,083	20,033

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、一般成形部品販売等の事業であります。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	103,570	14,176	10,179	127,925	139	128,065	—	128,065
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	103,570	14,176	10,179	127,925	139	128,065	—	128,065
セグメント利益	45,164	6,338	633	52,136	15	52,151	△4,112	48,039

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、一般成形部品販売等の事業であります。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。